

6 - 2 - 3 上松町の外部環境・内部環境の整理 ~作業部会でのワーク結果~

(1) 外部環境

作業部会の中で検討・抽出した「癒しの森事業」を取り巻く外部環境を下表に整理した。なお、外部環境の動向・傾向については、行政や民間企業が実施した調査のデータや施策等から把握される情報と、上松町で観光業等に関わる中で把握された情報（下表の青字箇所）を挙げた。さらに、それらの動向・傾向を、今後展開する、森林セラピーを核とした事業にとってのプラスの「機会」と捉えるための視点を議論、考察した。

図表 6-12 外部環境の整理（作業部会でのワーク結果）

	項目	外部環境の動向・傾向	森林セラピーからの視点
「心と身体の健康づくり」分野	企業・健保組合等を取り巻く状況	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病「予防」の重視 生活習慣病とメンタルヘルスの健診・指導が全面的に義務化 生活習慣病やメンタルヘルスに関するガイドラインの整備 	<ul style="list-style-type: none"> 高年齢者医療法・労働安全衛生法の改正は、企業や健保組合へアプローチする上で絶好の機会である プログラムを構築する際には、厚生労働省等のガイドラインを参照すべきである メンタルヘルスは若い女性が当面のターゲットとなる 家族への情報提供も有効と考えられる EAP 企業等と連携して、企業等にプログラム提供を進めることも有効である
	企業・健保組合等の動向・ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 男性の 1/2、女性の 1/6 がメタボリックシンドロームの疑い 「心の病」による休業者が増加中 心と身体の健康づくりを拡充する企業、健保組合が増加傾向 EAP 企業や、福利厚生代行会社等が既に企業対象及び健保組合対象の開発・試行を積極的に進めている 	
	従業員・組合員のニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 従業員は、心と身体の健康づくりに対して、高い必要性を感じている 森林セラピーのモデルツアーが自律神経失調の方にも効果があると好評であった 	
「社員研修・教育活動」分野	企業・健保組合等の動向・ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 研修は全体的に増加傾向。特に専門性の修得やライフプラン研修は急増 グループワークなどを取り入れ、コミュニケーション力やモチベーションの向上を図る研修が増加傾向 中小企業は、社員教育代行会社へ委託する傾向 多くの企業が、福利厚生の重点分野として「自己啓発」を挙げている 大会議室、IT 設備の研修施設を上松に求めてくる企業はない上松の自然を活かした健康をテーマとした研修はニーズがあるだろう 	<ul style="list-style-type: none"> 事業展開の方向性としては、社員研修に会場を提供するものと、プログラムを提供するものが考えられる 自然環境を活かした体験型研修等を通じたコミュニケーション能力等の向上を図るプログラムは需要が大きいと思われる 健康の維持・増進のためのノウハウ獲得等と連動させたカリキュラムとすることで、研修の効果を多様化することができる
	従業員・組合員のニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 従業員は「現在役立つ技術習得等」「健康の維持増進」に必要性を感じている 	

図表 6-12 外部環境の整理（作業部会でのワーク結果）(つづき)

	項目	外部環境の動向・傾向	森林セラピーからの視点
「従業員の観光・交流活動」分野	企業・健保組合等を取り巻く状況	<ul style="list-style-type: none"> ・国内旅行市場は回復傾向。「会社がらみの団体旅行」は漸減傾向 ・国、地方自治体、民間事業者等が健康志向ツーリズムを積極的に推進 ・旅行会社は新しいテーマ、情報を欲しがっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 従来の「会社がらみの団体旅行」のシェアが減少傾向にあることから、社員旅行での森林セラピー活用を図る上では、新たなニーズへの対応や掘り起こしが不可欠 ➢ ヘルスツーリズムの取組みが積極的に展開されニーズも高いことから、参加意向の高い若年層の従業員を主なターゲットとして、森林セラピーを組み込んだ観光プログラムを提供することで、多くの参加が期待できる ➢ 「社員研修・教育活動」分野において、ライフプランニングやコミュニケーション力の向上に関する研修のニーズが上がってきていることが把握されたが、従業員の観光・交流においても、これらをテーマにしたプログラムを提供することで、新たな層の参加を得られることが期待できる
	従業員・組合員のニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行動機は「日常生活からの開放」「旅先のおいしいものを求めて」に続き「保養、休養のため」が大きい ・リラクゼーションツアー・ヘルスケアツアーへの参加意向は若年層ほど高い 	
「保養施設等協定・活用」分野	企業・健保組合等の動向・ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・健保組合の直営保養所などは縮小傾向で外部保養施設の利用に移行 ・企業・健保組合の直営保養所は縮小し、外部保養施設との契約等へ移行する傾向 ・健保組合が活用する民間施設は、契約保養施設や運動施設が多い ・リゾートクラブ会員権の法人保有は減少傾向 ・カフェテリアプランは現時点では普及しているとは言いが、今後増える可能性はある ・企業・健康組合の費用補助を受けるために、宿泊証明を求める宿泊者が少なくない 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 廃止縮小が進む企業・健保組合等の直営保養所等の保養施設のアウトソーシング先として、フィールド及び宿泊施設等の利用協定、あるいは、森林を活用する保養プログラムの参加協定を企業と締結することが期待できる ➢ 協定締結の形態としては、全ての従業員や組合員に定期的に協定施設での保養機会を提供するといった形や、カフェテリアプラン等の福利厚生メニューの一つとして選択をしてもらうといった形が考えられる
	従業員・組合員のニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員は、福利厚生制度を活用して保養を得ることを評価、期待している 	
「企業の社会貢献活動」分野	企業・健保組合等を取り巻く状況	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の社会に対する責任として、「環境」「地域貢献」などを挙げる経営者が増加 ・「森林ボランティア活動」実施団体、参加者数いずれも、増大傾向 ・「企業の農山漁村地域での協力」には、国民の8割強が「良い印象を持つ」 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 従業員等の健康づくりに対する意識の醸成や、社員の健康教育としての役割を付加した取組みとして、新たなニーズの開拓の余地が大きい ➢ 従業員等の健康づくりを視野に入れることで、従業員及び株主等の理解を得て、企業等の経費捻出が容易とすること等の取組みが期待される
	企業・健保組合等の動向・ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・3割の企業が従業員のボランティア活動を支援。その理由は、「人材育成」が最も多い ・過半数の企業が「企業の森づくり」への興味・関心を有する。将来を含めると、9割の企業が有する ・「企業の森づくり」へ取り組む目的は、社会貢献としての地球・地域環境の保全・改善が最多 	
	従業員・組合員のニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・「趣味・教養」や「健康・スポーツ」のサークル・同好会活動への参加意向が高い 	

青字：上松町で観光業等に関わる中で把握された情報

(2) 内部環境

続けて、ワークショップで把握された「森林セラピー事業」に関わる内部環境を、下表に示す。内部環境は、5つのカテゴリー、11の要素に分けて、それぞれに含まれる資源を整理した。さらに、挙げられた資源を、地域性の大きい資源とそれ以外の資源に大別した。

なお、属地性の強い要素である「自然環境」「歴史・文化」「施設・器具」について、分布を図示した。

図表 6-13 上松町の内部環境の整理（作業部会でのワーク結果）

カテゴリー	要素	分野
ビジョン・プラン	ビジョン・プラン	・ホリスティック医療センター構想 ・住民の誇り ・健康への関心
ハード資源	立地条件	・特急（しなの）が停まる上松駅 ・権兵衛トンネルが開通したこと ・京王、伊那バスとの連携
	自然環境	《自然・季節》 ・自然が多い ・四季それぞれの良さ ・星空 ・雪 ・水 ・蛍 《川、滝》 ・溪流 ・敬神の滝、奇美世の滝、小野の滝 ・木曾川 ・寝覚の床 《山》 ・駒ヶ岳、御嶽山 ・風越山 ・中央アルプス 《森、樹木》 ・赤沢自然休養林 ・天然ヒノキ ・台ヶ峰のブナ ・針葉樹林 ・広葉樹林、雑木林
	ロード・空間	《空間》 ・まとまった雰囲気 ・フリースペースが多い ・焼笹駐車場（一般車導入禁止） 《街道》 ・木曾路 ・木曾古道 ・中仙道 ・石畳 《森林歩道》 ・8本の散策コース ・充実したロード ・ふれあいの道 ・オオヤマレンゲの小道 《登山道》 ・風越への登山ルート ・あたご山ルート ・林道、山麓線 《風景》 ・駒ヶ岳の夕照 ・木曾八景（の五景） ・台（ダナ）の風景
	施設・器具	《医療・健康関連施設》 ・木曾病院 ・健康増進センター 《観光・交流関連施設》 ・上松宿 ・道の駅 ・才児牧場 ・臨川寺 ・トムソーヤ村 ・ファーム山っ子 ・寝覚の床美術館 ・木曾路美術館 ・敬神キャンプ場 ・オートキャンプ滑川 ・街角ギャラリー ・滑川砂防公園 ・しみっくり三社

図表 6-13 上松町の内部環境の整理（作業部会でのワーク結果）（つづき）

カテゴリー	要素	分野
		<ul style="list-style-type: none"> ・森林鉄道 ・天狗山公園 ・棧温泉 《宿泊施設》 ・去来荘 ・灰沢鉱泉 棧温泉 ・ねざめホテル 《その他》 ・砂防ダム ・公民館 ・東京大学天文台木曾観測所 ・名古屋大学太陽風観測所
ソフト資源	文化・歴史	<ul style="list-style-type: none"> 《有形資源》 ・寢覚の家並みと中仙道 ・鬼淵鉄橋 ・材木陣屋（役所） ・民宿「たせや」 ・滑川の八ネ木橋 ・御神木 ・小川若宮神社 ・福島宿 ・上松宿 ・須原宿 ・八幡宮 ・玉林院 ・駒ヶ岳神社 ・諏訪神社 ・東野阿弥陀堂・臨川寺 《無形資源》 ・お祭り好きの町民性 ・木曾の山林の歴史（伊勢神宮） ・縄文・弥生の歴史 ・葛の葉 ・和宮の来宿 ・祭り、郷土芸能 ・駒ヶ岳神社大祭 ・大宮神社祭 ・木工の匠（桶・家具等） ・古式伐採 ・木工 ・木曾節
	人材・体制	<ul style="list-style-type: none"> 《医療・保健関連》 ・木曾病院 ・木曾看護専門学校 ・在宅保健師 《観光・交流関連》 ・上松技術専門学校 ・郡内の他の観光地 ・赤沢ガイド ・NPO 木曾ひのきの森 ・職人 ・木曾ひのきっ子ゆうゆうクラブ 《全般》 ・年寄り（老人パワー） ・まちづくり推進室森林セラピー係 ・関電、上松電子などの企業 ・人が優しい ・人情が豊か
	メニュー	<ul style="list-style-type: none"> 《食》 ・えごまオイル ・郷土料理 ・ししなべ ・信州そば ・ごへいもち ・おいしい水 ・水道水 ・日本酒 ・山菜 ・川魚 ・スンキ ・ほお葉、ほお葉もち、ほお葉まき ・調味料 ・豆腐 ・ほおばる会のお弁当 《遊び、運動》 ・木曾川下り ・川遊び ・滝巡り ・ブナの木めぐり ・里山歩き ・スノーシュー ・ネイチャートレッキング ・クロスカントリー ・フリークライミング ・里山の恵み ・はた織り 《ヒノキ関連》 ・木曾ヒノキ特産品 ・御神木の伐採 ・ひのき精油 ・木曾ヒノキのオガコ発酵浴 ・ひのきの木炭・竹炭・有機土壌改良
広報／システム	マーケティング	
	受入システム	<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ系健保組合との関係構築 ・豊明市との友好都市関係 ・木曾広域連合の活用 ・団塊の世代の受入
独自ブランド	ブランド	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾ブランド（木曾路、木工品等） ・赤沢ブランド（ヒノキ原生林、森林浴発祥の地等）

青字：地域固有の独自性のある資源（不変のもの）

：内部に恵まれた資源があるカテゴリー